

厚生労働省から

高齢者がいきいきと働くことのできる職場づくりの事例を募集中

厚生労働省では、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構と共催で、高齢者が働きやすい職場づくりの事例を募集する、令和2年度の「高齢者雇用開発コンテスト～生涯現役社会の実現に向けて～」を実施している。

これは、高齢者雇用の重要性に関する国民や企業の理解の促進と、高齢者がいきいきと働くことのできる職場づくりの実践やアイデアの普及を目的としたもので、昭和61年度以降、毎年行っているものだ。

応募対象は、希望者全員が65歳まで働ける企業。高齢者が働きやすい職場環境づくりや、新たな職場・職務の創出など、年齢にかかわらず生涯現役でいきいきと働くことができる職場にするための改善策や創意工夫事例を募集している。応募期間は、令和元年11月18日（月）から令和2年3月31日（火）まで。特に優れたものについては、令和2年10月の「高齢者雇用支援月間」中に表彰する予定になっている。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07892.html

厚生労働省から

「令和元年版 過労死等防止対策白書」を公表

「令和元年版 過労死等防止対策白書」が公表されている（2019年10月1日、閣議決定を経て公表）。

過労死等防止対策白書は、2016年に公表された「平成28年版 過労死等防止対策白書（平成27年度年次報告）」以来、例年出ているもので、令和元年版では、特に長時間労働の実態があると指摘されている重点業種・職種（建設業、メディア業界）の過労死等の要因などについて分析している。

令和元年版のポイントは次のとおり。

1. 長時間労働の実態があると指摘のある建設業、メディア業界に関する労災認定事案の分析など、企業における過労死等防止対策の推進に参考となる調査研究結果を報告。
2. 長時間労働の削減やメンタルヘルス対策、国民に対する啓発、民間団体の活動に対する支援など、昨年度の取組を中心とした労働行政機関などの施策の取組状況について詳細に報告。
3. 企業や民間団体などにおけるメンタルヘルス対策や勤務間インターバル制度の導入をはじめとする過労死等防止対策のための取組事例をコラムとして多く紹介。

この「過労死等防止対策白書」は、厚生労働省ホームページの右記URLから過去のものも含めてダウンロードできる。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000138529.html>

上記のホームページに行くと、各年度ごとに、本文、骨子、概要へのリンクがあり、次のようになっている。

本文 白書本体へのリンク。飛び先では、白書すべてが収録された全体版（pdf）と、記事単位で分割された「分割版」（記事単位のpdf）をダウンロードできる。

骨子 白書の内容を10ページ程度にまとめたもの（pdf）がダウンロードできる。

概要 白書の内容を30ページ程度にまとめたもの（pdf）がダウンロードできる。

令和元年版を概観すると、「第1章 労働時間やメンタルヘルス対策等の状況」では、労働時間等の状況、職場におけるメンタルヘルス対策や自殺の現状について報告され、「第2章 過労死等の現状」では、過労死等に係る労災補償、国家公務員の公務災害、地方公務員の公務災害のそれぞれの補償の現状が記述されている。

「第3章 過労死等をめぐる調査・分析結果」が今回の白書のポイントとなる部分で、ここで建設業とメディア業界の調査・分析結果が報告されている。

最後の章になる「第4章 過労死等の防止のための対策の実施状況」では、労働行政機関等における対策や調査機関などのほか、民間団体の活動に対する支援について述べられている。

「新ストレスマネジメントハンドブック」(1～15)の全巻がそろい踏み

健診施設などで見かけることもあるので、知っている方もいるだろうが、公益社団法人・全国労働衛生団体連合会(全衛連)が発刊している「新ストレスマネジメントハンドブック」という冊子がある。A5判4色刷り、表紙を含めて12ページの小さく、薄い冊子で、1巻から15巻までそれぞれストレスに関する15のテーマについてわかりやすく解説している。

刊行が始まったのは2年ほど前だが、2019年10月に在庫が切れていた既発行分も含めて全巻が揃った。すべて日本産業精神保健学会が監修し、島津明人、吉村靖司、春日未歩子などメンタルヘルスの専門家が「1 ストレスを知ろう」「2 こころの不調」などの基本から、依存症(アルコール、ギャンブル、ゲームなど)、睡眠、

不安・心配、ポジティブ・セルフケア、ハラスメントなど主要なテーマについて執筆している。

産業保健スタッフが読むための本というより、ストレスチェック受検者に配布したり、職場研修で配布したりするためのツールというべきものだ。1冊あたり90円(税別)で、巻ごとに購入できるが、各巻ごとに発注単位は50冊とのこと。送料別。書店では販売しておらず、連合会のホームページから購入申込書をダウンロードしてファクスなどで注文する。

【問い合わせ先】

公益社団法人・全国労働衛生団体連合会

TEL 03-5442-5934

<http://www.zeneiren.or.jp/books/>

政府広報オンラインから

昭和37年度～53年度生まれの男性の皆さんへ 風しんの予防接種にご協力ください!

本誌の15ページでも解説しているが、風しんは感染した本人の被害以上に妊娠中の女性に移してしまったときの「先天性風しん症候群」による被害が深刻だ。一般の社員には、政府広報オンラインの記事とイラストがわかりやすいだろう。このイラストや記事は規定(サイトの最下部「当サイトをご利用になる方へ」)内の使用なら二次利用が可能なので衛生教育に活用できそうだ。

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201406/3.html>



先天性風しん症候群の児に見られる主な症状(参考:国立感染症研究所「職場における風しん対策ガイドライン」)

※政府広報オンラインより転載

「産業保健21」99号アンケートのお願い

「産業保健21」では、産業保健活動の実務に資する具体的、実践的な情報を提供しています。今後、更なる充実を図るため、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

次のいずれかの方法でご回答いただきますようお願いいたします。

※このアンケートでご記入いただいた内容は『産業保健21』制作の参考にさせていただきます。

問い合わせ:(独)労働者健康安全機構 勤労者医療・産業保健部産業保健課

QRコード

右のQRコードを読み込み、表示された登録ページからご回答ください。



ホームページ

下記ホームページのアンケートページからご回答ください。

(URL) <https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/johoteikyo/tabid/1440/frmid/50/Default.aspx>